中宮温泉付近の昆虫類

富樫 一次 石川県農業短期大学

INSECT FAUNA OF CH $\overline{U}G\overline{U}$ -ONSEN, THE FOOT OF MT. HAKUSAN

Ichiji Togashi, Ishikawa Agricultural College

堀(1961)は、 白山を山麓帯・亜高山帯および高山帯の 3 帯に区分し、 そとに生息する昆虫類全般 について記録しているが、 中宮温泉付近の昆虫類について報告されたものは、 僅か $2\sim3$ にすぎないようである。

筆者は1978年以来, 白山自然保護センターおよび中宮温泉を訪れ, 周辺の昆虫相調査を行なっているが, 今回はこれまでに同定し得た昆虫類と, 2~3の種類の食性について報告したい。

本文に入るに先だちハマキガ類の同定をしていただいた 東北農業試験場奥俊夫博士に対し、 感謝の意を表する。

昆虫目録

A 半翅目

- 1. アカスジカメムシ Graphosoma rubrolineatum Westwood 1 P, 25-VI-1974.
- 2. トゲカメムシ Carbula humerigera UHLER 1 P, 25-VI-1974.
- 3. コバネナガカメムシ Dimorphopterus pallipes Distant 1 ♀, 25-V-1974.
- 4. オオメカメムシ Geocoris varius UHLER 1 9, 25-V-1974.
- 5. アザミグンバイ Tingis ampliata Herrich-Schäffer 4 ♀♀, 25-V-1974.

白山々系からは初めての記録であろう。個体数もかなり多いようである。

- 6. ヒグラシ Tanna japonensis Distant 1 9, 25-VI-1974.
- 7. フタテンオオヨコバイ Epiacanthus stramineus Motschulsky 1 9, 25-VI-1974.
- 8. クロヒラタヨコバイ Penthimia nitida Lethierry 2 ♀♀, 25-V-1974.

B 鱗翅目

- 9. ニセナミスジキハマキ Pseudohedya retracta Falkovitsh 1 ♀, 13-VI-1974. 羽化.
- 10. ムラサキカクモンハマキ *Arohips viola* Falkovitsn 1 9, 7-VI-1974. 羽化; 1 9, 26-VI-1974. 羽化.
- 11. クロネハイイロハマキ *Rhopobota naevana* Hübner 2 ♀♀, 5-VI-1974. 羽化. 六万山に生息することはすでに報告した(富樫, 1974)が、 それより判断すれば、 白山々系においては、本種は年2回発生するものと考えてよいであろう。

C 鞘翅目

12. ハキルリオトシブミ Euops lespedezae Sharp 2 P P, 25-VI-1974.

D 双翅目

- 13. ツマグロクシヒゲガガンボ Pselliophora isshikii Matsumura 1 ♀, 17-WI-1973.
- 14. アカウシアブ Tabanus chrysurus Loew 1 ♀, 17-VII-1973.
- 15. キイロケブカミバエ Xyphosia punctigera Corullett 1 ♀, 8-VI-1974.
- 16. ヒグラシャドリバエ Nemoraea cicadina KATO 4 さる, 25-VI-1974.

中宮温泉薬師堂前のミズナラの幹 に多数飛来していた。 本種はヒグラシ・アブラゼミ・ミンミンゼミの寄生蠅として知られている。

E 膜翅目

- 17. Runaria reducta MALAISE 1 ♀, 25-V-1974.
- 18. メスグロシダハバチ Alphostrombocerus konowi (Jakowlew) 1 ♂, 25-V-1974.
- 19. ワラビハバチ Aneugmenus kiotonis Takeuchi 1 ♀, 25-V-1974.
- 20. オオムネアカハバチ Dolerus ephippiatus Smith 2 P P, 25-V-1974.
- 21. Rachyprotasis albicoxis Malaise 1 9, 25-VI-1974.
- 22. クロハバチ Macrophya ignava Smith 1 ♀, 9-VI-1974.
- 23. クロムネハバチ Lagidina irritans (SMITH) 2 PP, 8-VI-1974.
- 24. ハラアカアシナガハバチ Aglaostigma occipitosa (Malaise) 1 ♀ 1 ♂, 25-V-1974.
- 25. Tenthredo ferruginea (Schrank) 1 ♀, 8 VI-1974.
- 26. ニホンカブラハバチ Athalia japonica (Klug) 2 ♀♀ 5 ♂♂, 25-V-1974.
- 27. セグロカブラハバチ Athalia lugens infumata (Marlatt) 2 ♂♂, 8-VI-1974.
- 28. アカネハバチ Hemibeleses nigriceps Takeuchi 2 ♀♀, 8-VI-1974.
- 29. ツマジロハバチ Asiemphytus albilabris (Takeuchi) 2 P P, 8-VI-1974.
- 30. ヒゲナガクロハバチ Phymatocera nipponica Togashi 1♀, 25-V-1974.
- 31. ムモンムネアカハバチ Eutomostethus hyalimus Takeuchi 3 ♀♀2 ♂♂, 8 VI-1974.
- 32. ルイスアカマルハバチ Nesotomostethus lewisii (KIRBY) 1 ♀, 8-VI-1974.
- 33. クロバアカマルハバチ Nesotomostethus religiosa (Marlatt) 1 ♂、8 VI-1974.
- 34. ミヤマナナフシハバチ Heptamelus montanus Togashi 1 ♂, 25-V-1974.
- 35. アケビコンボウハバチ Zaraea akebii TAKEUCHI 1♀, 25-V-1974.
- 36. フトオビコンボウハバチ Zaraea triangularis Takeuchi 1 ♀, 25-VI-1974.
- 37. *Ipobracon* sp. 2 ♀ ♀, 17-VII-1973.

本種は六万山からも採集されているが、種名は確定していない。

- 38. *Rogas* sp. 1 ♀, 25-VI-1974.
- 39. *Phanerotoma* sp. $1 \, \circ$, $17 \, \circ$ -VII-1973.

六万山でも採集されているが、種名は確定していない。

40. タテハオオサムライコマユバチ Microgaster tibialis Nees 1 ♀, 25-VI-1974.

白山々系からはじめて記録されるもので、アカタテハ、ヒメヒオドシの寄生蜂として知られている。

41. *Meteorus* sp. 1. 2 9 9, 25-VI-1974.

- 42. Meteorus sp. 2. 1 9, 25-VI-1974.
- 43. *Haltichella* sp. 1 ♀, 17-VII-1973.

本邦には、本属の種は2種報告されているが、現在のところ種名の確定はできなかった。

- 44. キオビホオナガスズメバチ Vespula media de Geer 1 ♀, 17-VII-1973.
- 45. キボシアシナガバチ Polistes yamanakai Sonan 1 9, 25-V-1974.
- 46. スミスギングチバチ Crossocerus assimilis (SMITH) 1 ₽, 25-V-1974.

あまり多くない種といわれている。中宮温泉からははじめての記録であろう。

- 47. ヒラアシギングチバチ Crossocerus cetratus (Shuckard) 1 ♂, 25-VI-1974.
- 48. ガケギングチバチ *Crossocerus wesmaeli* (Van der Linden) 1 ♂, 25-V-1974. あまり個体数の多くない種といわれている。
- 49. クロユビギングチバチ Ectimnius nigritarsus (Herrich-Schaeffer) 1 P, 17-WI-1973.
- 50. イワタギングチバチ Ectimnius schlettereri (Kohl) 1♀, 17-Ⅷ-1973.
- 51. クラマギングチバチ *Lestica reiteri* (Kohl) 1 φ, 17-\m-1973.
- 52. クロギングチバチ Rhopalum latronum (KoHL) 2 ♂♂, 25-VI-1974.
- 53. クロタビギングチバチ Rhopalum calceatum (Tsuneki) 1 ♂, 17-VII-1973.
- 54. ヤマジガバチ Ammophyla sabulosa infesta Smith 1♀, 17-VII-1973.

数種昆虫の食性について

筆者の採集した種類のうち、食性について観察でゆたものを記録しておきたい。

アザミグンバイはアザミの加害昆虫として知られているが、 中宮温泉湯谷川原でもアザミの 葉上に 多く見出された。

ニセナミスジキハマキの幼虫は、クマシデの葉を数枚巻いてその内部で葉を食害していた。

ムラサキカクモンハマキは、これまでポプラやウリハダカエデの加害昆虫として報告されていたが、 自然保護センターの裏山では、リョウブやマンサクの葉を食害していた。

クロネハイイロハマキは六万山の場合と同様、ウワミズザクラを加害していた。

アイヌギングチバチ Crossocerus aino (Tsuneki) の獲物について

昭和49年8月25日、中飯場跡近くでアイヌギングチバチの1雌が、腹部末端より自分の体長と略等しい程の変なものを出して葉上を歩行しているものを発見。 これは何かを運んでいると 思い直ちにネットに納めた。

見たところ腹部下面にミヤケシリアゲムシを中脚で保持し、巣に運ぶ途中であったものである。 常木 (1960) は本種の獲物として オオハサミシリアゲムシを記されたが、 もう一度よく調べる必要 があろうと述べられている問題の獲物であったのでここに記録しておく。

文 献

堀 克重 (1961) 白山の昆虫相と生態的分布,白山国定公園の生態学的研究:75~97 (英文).

富樫一次 (1974) 中宮温泉付近のハマキガ類, とっくりばち No. 26・27:10~11.

常木勝次(1960) 邦産ヒメギングチバチ属の習性(1). 生物研究(福井), 4:15~17.

Summary

The material was collected by the writer in Chûgû-Onsen district, the foot of Mt. Hakusan.

According to his observations, the larvae of *Pseudohedya retracta* Falkovitsh fed on *Carpinus japonica* Blume, and the larvae of *Arohips viola* Falkovitsh collected on 25. V. 1974, at Chûgû-Onsen fed on *Clethra barbinervis* Sieb. et Zucc. But another population of the latter species fed on *Hamamelis japonica* Sieb. et Zucc.

On August 25, 1974, he found a crabronid wasp, *Crossocerus aino* (Tsuneki), carrying a mecopterous prey, at Mt. Rokuman. Her prey was a female of *Panorpa tsunekatanis* Issiki.